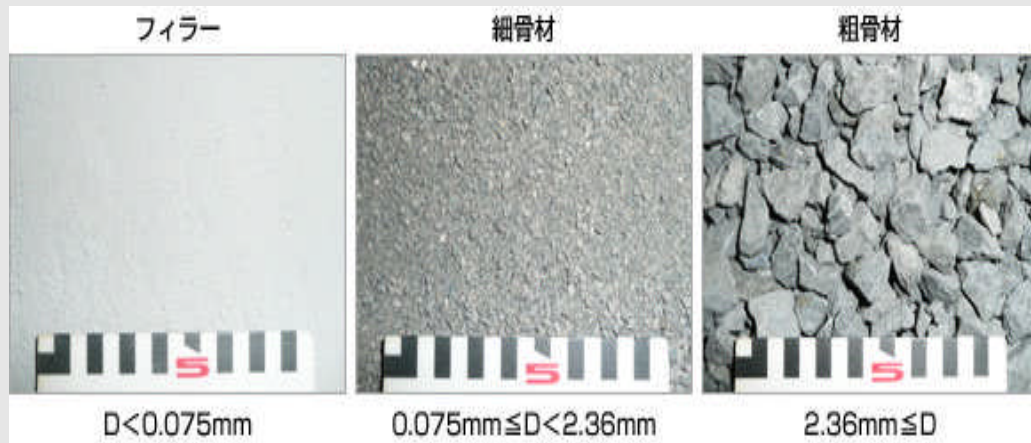


アスファルト混合物とは？

アスファルト混合物とは、粗骨材、細骨材、フィラー及びアスファルトを所定の割合で混合した材料。道路ではアスファルト舗装の表層或いは基層などに用いる。アスファルト及び骨材を加熱して作る加熱アスファルト混合物と液体アスファルトを常温で使用する常温混合物とがある。アスファルトコンクリート（アスコン）ともいう。

①使用材料

アスファルト混合物と



②加熱アスファルト混合物と常温アスファルト混合物

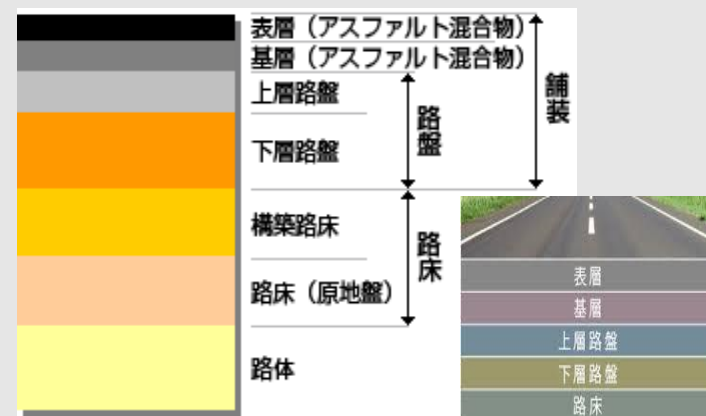
アスファルト混合物には、アスファルトおよび骨材を加熱してつくる加熱アスファルト混合物とアスファルト乳剤やカットバックアスファルトを常温で使用する常温アスファルト混合物があります。加熱アスファルト混合物は粗骨材、細骨材、フィラーおよびアスファルトを加熱状態で混合したアスファルト混合物です。常温アスファルト混合物は粗骨材、細骨材などをアスファルト乳剤などと常温で混合し、常温（100℃以下）で舗設できる混合物です。加熱アスファルト混合物に比べ、一般に耐久性はやや劣りますが、貯蔵もできるため、簡単な舗装材料あるいは補修材料などとして用いられます。

加熱アスファルト混合物には、新規骨材を使用したものとアスファルトコンクリート再生骨材を使用したものがあります。アスファルトコンクリート再生骨材とは、アスファルトコンクリート発生材を破碎、分級したものです。再生加熱アスファルト混合物は、アスファルトコンクリート再生骨材を主体として、新アスファルト、再生用添加剤、補足材等を加える場合と、新しい材料を主体としてアスファルトコンクリート再生骨材を補足的に使用する場合、およびこれらの中間的な場合があります。

道路に使われるアスファルト混合物

アスファルト舗装の構成

アスファルト舗装とは、一般に、表層・基層・路盤からなり、路床上に構築されます。通常、表層・基層にアスファルト混合物が用いられます。表層はアスファルト舗装において最上部にある層のことで、表層の役割は交通荷重を分散し、交通の安全性、快適性など、路面の機能を確保することです。基層は路盤（上層路盤）の上において、路盤の不陸を修正し、表層に加わる荷重を均一に路盤に伝達する役割をもつ層のことで、路盤は路床の上に設けられ、表層および基層に均一な支持基盤を与えるとともに、上層から伝えられた交通荷重を分散して路床に伝える役割を果たす層のことで、一般に、上層路盤と下層路盤の2層に分けます。路床は舗装を支持している地盤のうち、舗装の下面から約1mの部分のことで、路床の下部を路体といいます。また、構造計算上、交通荷重の分散を期待する場合には、原地盤改良し、その改良した層を構築路床、その下部を路床（原地盤）といい、併せて路床といいます。



一般的に使用されるアスファルト混合物

表層用として、密粒度アスファルト混合物（再生、改質を含む） 細粒度アスファルト混合物（再生を含む） 開粒度アスファルト混合物（再生、改質を含む） などがあり使用用途により施工場所が変わってくる。また、基層用としては粗粒度アスファルト混合物（再生、改質を含む） が採用されることが一般的である。

【参考文献】 舗装設計施工指針 舗装施工便覧

主なアスファルト混合物



密粒度アスファルト混合物



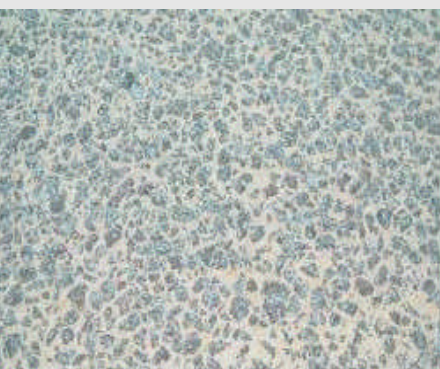
開粒度アスファルト混合物



排水性アスファルト混合物



カラーアスファルト混合物



半たわみ性アスファルト混合物



自然色舗装用アスファルト混合物

